



こだま

〒010-0521
男鹿市船川港南平沢字大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL 0185-23-3241
FAX 0185-24-4947
校報通算 第219号

TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th

自彊不息 学び続けること

校長 長谷川 朋欣

授業だけではなく、学校生活の様々な場面で私達は学び合うことが大切です。そんな場面を拾ってみました。

ようこそ 「町の先生」講話会

6月6日(水)前南中学校長、栗森 貢先生をお招きして講話会を開催しました。



演題は「日々挑戦、日々努力」。

教育に対する熱い思いをもち、男鹿市内の小・中学校長を歴任するとともに、書道、剣道、スキー等々多才な特技をもち公私ともに順風満帆に見える栗森先生です。しかし中・高・大と学生時代には辛い挫折を味わい、その度に自分に試練を課し乗り越えてきたエピソードを伺いました。背筋を伸ばし聴き入る生徒の姿が印象的でした。

生徒の感想から

- 自分のすべきことを精一杯努力することは、今からでも遅くないと思った。
- 先生との出会いは、私のまだ短い人生の中でも欠かすことのできない出会いです。
- (今までより) いっそうの努力が必要になると思います。でも、くじけず、下を向かず前へ進めば、きっとよいことがあると思う。
- 「苦勞を乗り越えた先に、よい未来がある」という言葉が印象に残りました。
- 私はまだ、人生の大きな分岐点に出会ったことはないけれど、いずれ必ず通る道です。どんなことも乗り越えるぞ! という気持ちで過ごしていきたい。

相互授業参観

～教師も勉強～

教師は「授業で勝負」。行事や部活動、生徒指導など様々な仕事を抱えている教員ではありますが、基本は何といても「授業」です。学校生活の中で、一番長い時間を占めるのは授業。この授業が退屈や難解の極みであれば、生徒にとってこれ以上の不幸・苦痛はありません。

南中では、分かりやすく力のつく授業、生徒同士が意見を交換し、より深く考える授業を目指し全教員が授業を見合い、意見を交換する、いわば「教師同士の勉強会」を行っています。

今年度の第一弾は、学習関係のリーダーを務める菅生教諭が1年1組で国語の授業を提示しました。内容は説明的文章の読み取りです。ばらばらになった段落をキーワードや文のつながりを手がかりに正しい順番に並べる課題に挑戦しました。

読む、話す、聞く。一つ一つの学習活動に瞳をきらきらさせながら取り組む様子には、もはや入学当初の面影は感じられませんでした。健やかに成長する南中1年生の将来が楽しみです。



中総体

新聞報道等のお通り、南中生は暑い夏を過ごしました。目標は勝利ではありませんが、全力で戦い、必死に仲間の健闘を応援することから、勝ち負け以上のことを学んだ大会でした。熱いご声援ありがとうございました。(詳細は裏面を)

今月号の校報タイトルは湊谷莉子さん(2年生)の作品です。

南中全員の元気な思いが学校中に響き渡るようにとの願いを込めて書きました。